

# 協働は「共感」で決まる

## — 企画を「お願い」で終わらせないために —

人口減少や人手不足が進む中、行政だけで政策を企画から実装まで担い続けるのは難しくなっています。

だからこそ、企業・市民団体・学校など外部との協働は不可欠です。一方で、協働がうまく進まず、行政が抱え込んでしまうケースも少なくありません。

本研修では、埼玉県久喜市の3人制バスケットボールの成功事例と、うまくいかなかった協働事例をもとに、協働相手に刺さる企画のポイントと、関係者が主体的に動く協働の進め方を学びます。



参加無料

2026年3月12日(木) 14:00~16:30

最上総合支庁 講堂 (zoom配信あり)

【講師】金澤 剛史 氏

埼玉県 久喜市役所

スポーツ振興課 副主幹

久喜市役所スポーツ振興課職員。3x3バスケットボールなどスポーツを軸に、企業・市民団体と連携し、自走する協働モデルを実践。市民が主役となる協働の仕組みづくりに取り組む。

スポーツ庁「スポまち！」表彰4年連続受賞、シティプロモーションアワード2年連続受賞。自治体職員向け研修・講演多数。



【会場】

山形県最上総合支庁 5階 講堂  
(新庄市金沢字大道上2034)

【定員】

会場30人・オンライン100人程度

【プログラム】

1. 講演 (70分)
2. ワークショップ (70分)

※ ZOOMでは講演のみ配信となります

【申し込み】

専用フォームから  
お申し込みください  
締切：3月5日(木)



主催：最上地域政策研究所 / 協力：一般財団法人 地域活性化センター

【お問合せ】最上総合支庁連携支援室 ☎ 0233-29-1239 ✉ ymogamirenkei @ pref.yamagata.jp